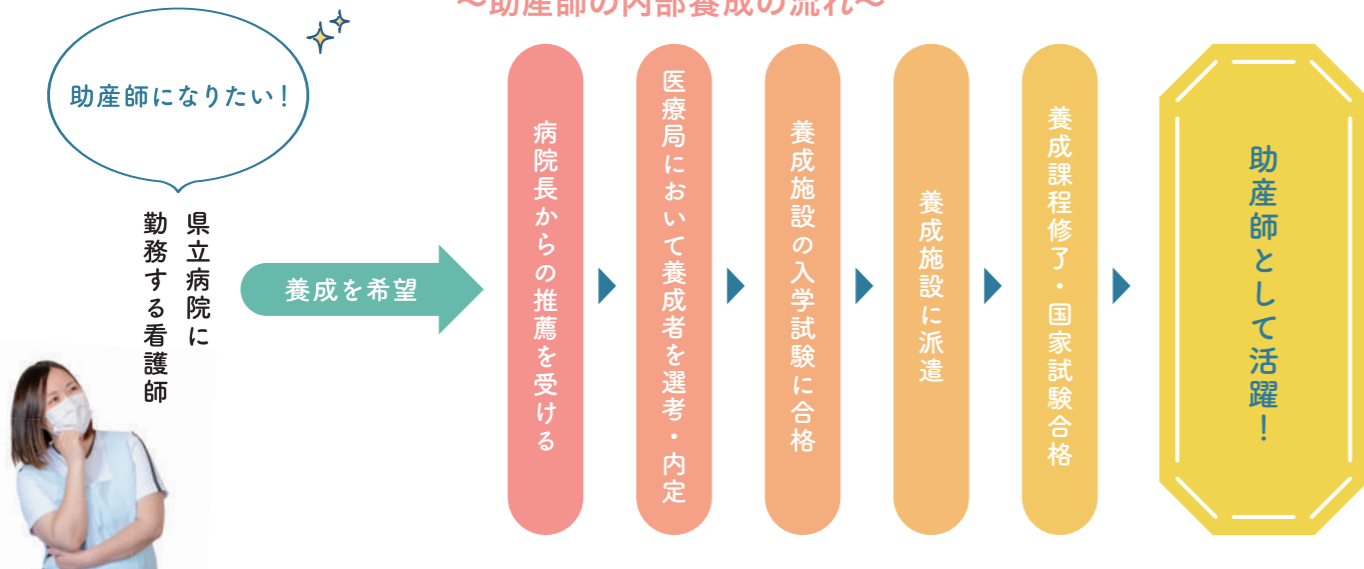


助産師の 内部養成について

県立病院で働く看護師のなかで、助産師として働く意欲のある職員を対象に内部養成を実施しています。
助産師免許の取得に要する費用（養成施設の学費等）や在学中の給与についてはすべて医療局において支援します。
※助産師免許取得後の配属先は県北・沿岸の病院になります。

～助産師の内部養成の流れ～



内部養成による資格取得者紹介

助産師を目指したきっかけを教えてください

高校時代、助産師の思春期講話の中で助産師の仕事のDVDを見る機会があり、助産師という仕事に興味を持ったことがきっかけです。女性特有の出産という神秘的な出来事に関わることができる助産師という職業に憧れを抱くようになりました。また、自身の出産体験から、妊産婦に寄り添い、痛みや辛さ、そして出産の幸せを共有できる助産師になりたいと思いました。

内部養成を利用し、助産師資格取得までの流れを教えてください

医療局での面接で受験が認められれば、一般試験を受験できます。助産学校を合格することができれば、学生として1年間勉学に励むことができます。また、助産学校の長期休みの際は、最寄りの県立病院で勤務することになります。

助産師として配属される場所は主に沿岸部となりますが、新人時代から勤務しており、希望していた宮古病院へ配属されることができました。

助産師を目指す方へメッセージをお願いします

助産師内部養成を受けるにあたり、金銭面での心配が強くあるかとは思いますが、学費や毎月の給与の援助を受けることができます。医療局に在籍しながら、助産師資格を得られること、資格取得後の就職先も決定していることから、安心して勉学に励むことができました。助産師資格を得たことで、仕事の幅も広がり、楽しい毎日を送っています。様々な不安はあるかとは思いますが、資格取得できるよう応援しています。

助産師内部養成制度は
夢への第一歩です。
新たな一歩を踏み出しましょう！！



宮古病院
佐々木 朋絵

県立病院の 周産期医療体制

県立病院は、妊産婦や新生児に対する医療体制を充実し、安心して産み育てられる環境づくりを目指すことを目的に、「地域周産期母子医療センター」として7病院、「周産期母子医療センター協力病院」として1病院が指定されています。



助産師外来

助産師外来では、助産師が妊産婦の健康診査や保健指導を行っています。妊婦健診は、ゆったりした雰囲気の中で不安な事などを伺いながら、妊婦が主体となり満足した出産が出来るようサポートしています。お腹の中の赤ちゃんの成長をお母さん方と一緒に喜び分かち合う時間は、助産師としてのやりがいを感じます。

産後健診では、退院後の育児に関する不安の軽減や、母乳育児が継続できるようケアを行っており、お母さん方の自信に繋がり好評を得ています。

